

地域社会特性等の分析による社会資本整備の評価に関する研究

(研究期間：平成 1 1 年～ 1 3 年)

任期付研究員：青木 俊明 (国土交通省国土技術政策総合研究所)

総 評 (一定の成果が得られた研究であった)

本研究は、地域の社会経済特性に関する評価手法を検討することにより、社会資本整備の効果発現の地域性を把握する地域特性評価モデルの開発、及び、社会資本整備に対する住民満足度の計測と評価・予測手法の開発を目指すという、心理学的観点から土木計画学分野の問題解明を図るというものである。

社会現象を数値化することには困難さがあるものの、因果関係を求め、政策に応用しようとする方向性は評価できるが、3年間という研究期間の時間的制約もあり、住民意識の吸収に対する努力は見られるものの、サンプル数が少なく、また、地域の選定も限られており、多様な因子が十分考慮されているか不確実な面も見られ、全体として早急に結論を出すことに固執しすぎたのではないかとの印象も否めない。

本研究テーマは重要な課題であるため、成果を政策面に反映させるに当たっては慎重な考察が必要と考えられ、今後は、本研究を契機として、更に十分な調査を行うなど、本研究の更なる発展が期待される。

他方、任期付研究員の活用効果については、任期付研究員の行った研究手法等が本研究所での新たな研究の発想・発展に寄与するなど、一定の効果が得られており、また、任期付研究員が研究に専念できるよう、事務負担の軽減を図るとともに、シンポジウム等への十分な参加機会を供与するなど、研究所の任期付研究員に対する支援も行われている。

以上により、本研究は、総合的に一定の成果が得られた研究であったと評価できる。

< 総合評価：b >

評価結果

総合	1.目標達成度	2.目標設定	3.研究成果			4.任期制	
			1.科学価値	2.科学的波及効果	3.情報発信	1.活用効果	2.機関支援
b	b	b	b	b	b	b	b